

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 367 号	氏名	丸田 大
学位審査委員	主査	中尾 一彦	
	副査	田口 尚	
	副査	増崎 英明	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、前立腺癌の被膜外浸潤と癌組織における転写因子 E1AF ならびに matrix metalloproteinase-7 (MMP-7) 発現の関連について検討を行っており、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 根治的前立腺全摘除術を行った前立腺癌 50 例を対象に、癌組織における E1AF、MMPs (MMP-1, 3, 7, 9, 14) の発現を免疫組織化学的に検討し、被膜外浸潤との関連、E1AF 発現と MMPs 発現との関連について統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、E1AF 発現は MMP-7 発現とのみ有意に関連していること、E1AF、MMP-7、MMP-9 発現はいずれも前立腺癌の被膜外浸潤と関連性があることが明らかとなった。本研究成果は、今後、前立腺癌進展の治療・予防へと繋がる可能性が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は前立腺癌研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			